



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

地元紙実施の「県議アンケート」の回答を思い起こせ。安全対策の具体化はこれからだ。

議員は自身の言葉に責任を持て！

2年前の＜県会議員アンケート＞の回答（単位：人）

Q1 東電による再稼働を認めますか？

①認める-3、②認めない-28、③判断できない-20

Q3 東電の適格性がありますか？

①ある-6、②ない-20、③判断できない-26

Q4 東電への信頼がありますか？

①大いにある-1、②ある程度ある-7、

③あまりない-12、④全くない-17、⑤判断できない-15

「短期間で企業体質が是正されたと思わない」
23年4月、地元紙の県議アンケートでは、東電による再稼働に対して、自民党をはじめ多くの県議が疑問を呈していました。①再稼働を認めない28、判断できない20。③適格性ない20、判断できない26。④信頼あまりない12、全くない17、判断できない15でした。
ある自民党県議は「東電

の適格性はない。短期間で企業体質が是正されたとは思わない。」「東電の信頼性はあまりない。不祥事を繰り返した東電が変わったのか疑問だ。」「日本は地震大国。原発の難しさを肝に銘じるべき。」「安全を最優先に安全対策にはコストを惜しまずに対応してほしい」と厳しい姿勢で回答していました。この言葉はその通りで、大変重要だ。
「安全対策にコストを惜しまず対応」はこれからのこと、まだ時間がかかる
10月16日の県議会連合委員会の参考人招致で、東電は自民党の質問に応える形で「10年の間に1千億円を基金として県に拠出する」と表明しました。
自・公・真はこれで「安全対策」が具体化されたというのでしょうか？「金を出す」と言っただけで、安全対策は今後10年間で具体化されるのです。政府の安全対策も、具体化されるのはこれからで「今安全が担保

遠藤れい子の笑顔でファイト

もすすむ中、日赤では血液確保の取り組みを行っています。今日は多くの学生さんが呼

長岡技術科学大学で献血PR



献血車の前で遠藤れい子

10月22日、青空、秋晴れの素晴らしいお天気、気分もハッピーな午後、長岡技術科学大学で行われた日本赤十字社の献血のPRに行きました。
例年、冬期間は「血液不足」が生じます。人口減少もすすむ中、日赤では血液確保の取り組みを行っています。今日は多くの学生さんが呼

びかけに応じて協力してくださいました。
長岡技術科学大学で学ぶ1割は外国からの留学生の皆さんです。様々な国の人が学び、研究しています。素晴らしいですね！

された」訳ではありません。花角知事は14万3千筆の「県民投票求める」声に改めて向き合え
県民意識調査（途中経過）では、69%の県民が東電が運転することに心配と回答。安全に避難する避難路の整備が必要だとは88%。再稼働の条件は整っている37

%に対し、整っていない60%である。
知事は、改めて14万筆の県民投票を求める県民の声に真摯に向き合ってください。

集まれ！「人間の鎖」行動に。

11月25日11時から県庁を手をつないで包囲して県民の意思を示そう！

11・22 遠藤れい子とみんなのつどい

◎国会報告は吉良よし子
参院議員団長

◎マツケンサンバを踊ろう

<練習日>

11/15(土)10:00
11/17(月)13:30
11/18(火)13:30
所：四郎丸コミセン

◎つどい当日
保育室あり

※ご利用希望の方は、事前にお申込みください